



津幡町立津幡中学校

Tsubata Junior High-School

学校だより

さわやか

令和4年7月4日 <7月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



「自分を大切にする」とは

校長 小村 隆典

6月下旬に加賀地区県体予選が行われ、津幡中生は精一杯の健闘を見せてくれました。試合中、皆さんの闘志あふれる表情や試合後の涙には心を動かされました。多くの試合の中、特に印象に残った場面を紹介いたします。津幡中サッカー部が出場した2回戦の試合です。この日の2

試合目、1-0のリードで迎えた試合終盤、懸命に走る津幡中チームの中には、30℃を超える暑さもあり、足がつって倒れる選手が出てきました。そのとき、相手チームの選手が本校選手の足を伸ばし、再び走れるようにケアをしてくれました。もちろん、相手選手が倒れたときは、本校の選手は手を差し伸べて相手選手を気遣っていました。選手たちは互いに思いやりと尊敬、感謝の心を持った、素晴らしいフェアプレー精神を見せてくれました。



私は4月の全校集会で、「自他共栄～自分も相手も大切にできる学校をつくりたい」という話をしました。「相手を大切にできる」とは「思いやりと尊敬、感謝の心で接すること」だと選手たちから教わった気がします。

皆さん一人ひとりには、必ずよいところがあります。相手のよいところを見て、決して相手を下にみることなく、又は自分を卑下するのではなく、互いに思いやりと尊敬、感謝の心で接してほしいと思います。



では、「自分を大切にできる」とはどんなことでしょうか。私は「自分の可能性を伸ばし切る」ということだと思います。皆さんには全員、無限の可能性が 있습니다。是非、目標をもってください。「こんな自分になりたい」と強く思ってください。将来の職業や進学先だけでなく、「優しい人になりたい」「誠実な人になりたい」など、人格についてもとても大切だと思います。



「目標を達成するためには、時間を大切にすることが大事になってきます。時間を大切に使うことは、自分を大切にすることにつながります。例えば、動画をつい長く観てしまう人は、「動画を観ることは、目標達成に必要なか？」と自分に問いかけ、「もう観ないでおこう」とか「5分だけにしよう」と考えるとよいでしょう。

ボクシング世界王者の井上尚弥選手は、あまりの強さにモンスターと呼ばれています。そんな井上選手ですが、自分のことを「僕は天才ではありません」と言っています。井上選手は練習の終わりに、毎日、自分に問いかけているそうです。「限界までやったのか。考えながらやったのか。自分は、本当に努力したのか。」世界王者：井上選手をつくったのは、日々の振り返りかもしれません。

この夏、特に3年生は「自分史上、最も努力する夏」にしてほしいと思います。1・2年生の皆さんも、1日1日を大切に、小さな努力を積み重ねてください。

必ず、「なりたい自分」に近づきます。

